

中間事業報告会を開催しました

師走の恒例行事、中間事業報告会が正会員141名（リアル90名、WEB51名）参加のもと、12月13日に学士会館202号室で滞りなく開催されました。

平均年齢73歳の活力あるシニア中心の当NPOクラブ、12月段階の正会員数は261名へと成長している姿が酒井理事長より紹介されました。そして、現状の活動状況が中期活動重点課題（3分野、12課題）に沿って説明されました。

2025年3月期は、利益が黒字予算から赤字見込みという厳しい状況が報告されましたが、過去何度も苦しい時期を乗り越えてきています。提示された施作を、先達との総力で発展、凌駕したアイデアに昇華させて、業績の健全化を来年度以降含めて実現していくことが期待されます。



個別案件、事例報告としては、今年度受託した経産省中堅・中核企業の経営力強化支援事業と関西グループの高知産業振興センターについて、それぞれ錦織リーダー、田畑グループリーダーから報告されました。いずれも事業発展、新規開拓の要となる話です。

その後、8名の今年度入会された新入会員から自己紹介、挨拶を頂きました。

最後に、そして特筆すべきことがあります。NPOの創設以来20年以上にわたり、総会と中間報告会を、コロナ時期を除きずっと、年2回この学士会で行ってきました。が、来年からは学士会館の建て替えのため、別の場所で開催となります。今回使わせて頂いた202号室、201号室のある旧館部分は曳屋工事で残すということです。懇親会を行った201号室は「半沢直樹」の最終回のロケ場所でもあります。関東大震災後の復興建工から戦時中を含めて様々な歴史のあるこの場所で当NPOクラブの会ができたことを有難く思います。



201号室での懇親会